

おとずれ

(発行者) 富士吉田カトリック教会

(住所) 〒403-0005

山梨県富士吉田市上吉田3-5-7

(TEL&FAX) 0555-22-3199

2018年2月第426号 ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/index.html>



教皇フランシスコ 一般謁見・アンジェラス ミサ中の「回心の祈り」について考える、教皇一般謁見

教皇フランシスコは、バチカンで1月3日、水曜恒例の一般謁見を行われた。
2018年最初の教皇一般謁見は、世界各国の巡礼団と共に、バチカン市国内のパウロ6世謁見ホールで開催された。

教皇はミサ聖祭をめぐるカテケシス（教会の教えの解説）で、この日はミサの導入部における回心の祈りについて考察された。

回心の祈りは、神と兄弟たちの前で自分の罪を認めることによって、ミサ聖祭によりふさわしい態度で臨めるように、わたしたちを助けるものと教皇は説明。

わたしたちは皆罪びとであるがゆえに、実際、司祭による回心への招きは、祈りの中にある共同体全体に向けられていると話された。

自分のことや、自分の成功だけでいっぱいの中で、何を神に捧げることができるだろうかと問う教皇は、「ファリサイ派の人と徴税人のたとえ」（ルカ18,9-14）を例に引き、尊大な者は自分を正しい人間であると自惚れているために赦しを受けることができないが、それに対して、義とされて家に帰ったのは、自分の惨めさを知り、謙遜に憐れみを請う徴税人の方であったと述べられた。

沈黙のうちに良心の声を聴くことは、わたしたちの思いが神の思いとかけ離れ、わたしたちの言葉や行いが福音の教えとは反対の世俗的なものであることに気付かせると教皇は話された。

ミサの導入部で行われる回心の祈りでは、共同体として一緒に告白が行なわれるが、その中で、「わたし」（一人称単数）という立場で一人ひとりが、罪の総告解の式文を通し、「思い、言葉、行い、怠りによってたびたび罪を犯した」ことを、神と兄弟に対して告白する。

教皇は、自分が行えたはずの善を行なわなかったという意味で、「怠り」も告白すべき罪の一つであると述べ、隣人に対して悪いことを行なわないというだけでは十分ではなく、善を行う機会を逃してはならないと説かれた。

また、教皇は、神と兄弟の両方に自分の罪を告白することは、罪がわたしたちを神から引き離すだけでなく、兄弟たちからも引き離すものであることを理解させると語られた。

さらに、回心の祈りを声を出して唱える時、胸を手で打つ動作を伴うが、これは罪がまさしく自分のものであると誠実に認め、他に転嫁するものではないことを表していると解説された。

罪の告白の後、聖母マリア、すべての天使と聖人、そして兄弟たちに、罪深い自分のために神に祈って欲しいと願うが、教皇はここに、神との完全な一致へ向かって歩むわたしたちを支える、諸聖人たちとの貴重な交わりを見出された。

聖書は、罪の後に心を新たにする恵みに自分自身を開いた「回心者たち」の輝かしい模範を示してくれると述べた教皇は、「神よ、わたしを憐れんでください、御いつくしみをもって。深い御憐れみをもって、背きの罪をぬぐってください」（詩編 51, 3）と言ったダビデ王や、父親のもとに戻ってきた放蕩息子、「神様、罪びとのわたしを憐れんでください」（ルカ 18, 13）と言った徴税人の祈り、また、聖ペトロや、ザアカイ、サマリアの女などの言葉や態度を思い出すよう招かれた。

自分の弱さを認めると同時に、心を開き、わたしたちを変容させ、回心させる神のいつくしみを祈り求める、これがミサの始めに行なう回心の祈りの意味であると教皇は述べられた。

私たちの教会の聖歌の歩みによせて

シスター 松下富美子

私が長年待ち望みやっと高校3年で受洗したばかりの頃だったと思います。ある日主任司祭からミサのオルガンを弾いてみませんか？と声を掛けられ お引き受けし そして ドキドキしながらの私とオルガンとの旅が始まったのでした。

やがて修道院に入りゆく先々で必死に練習しオルガニスタをさせていただきました。シスターたちや養護施設の子供たちそして小教区の教会で毎年巡りくる典礼季節にちなんだ聖歌を取り入れ練習し その祝祭日にはそれを三位の神に 聖母マリアに 諸聖人にお捧げしてきました。それは音楽好きでオルガニスタのわたしには最上のよろこびでした。

そして2年前 ここ富士吉田教会にまいりましたが この4月には数名の方から聖歌隊としてやってきたいと申し出提案があり 誠に未熟ではありますが 大喜びでお受けした次第です。しかし月に一度一時間の練習で覚えた聖歌をミサに参加しておられる信徒の方々に流すためにどうしたらよいか！という大きな悩みにぶちあたっています。せめてこれから暖かくなったらミサ前10分からでも聖歌隊の方にリードしていただき会衆の方々にも 新しいきれいな曲も覚えていただき 典礼の活性化に……と心ひそかに願っているのです。

それでは次に「ミサを歌う時」の注意事項を皆さまよくご存じの高田三郎先生の著書から引用しご紹介したいと思います。

その① ミサで歌うとき わざとでなければへんなこえでうたってもよい。わざとでなければ音程やリズムを間違えてもよい。わざとでなければ言葉を間違えてもよい。しかし、心が歌っていないなら それは零点の場なのです。

その② 私たちはよい声である必要はありません。むしろ 輝かしすぎる声で表面的に歌い飛ばすことの方を注意しなければならないのです。又年老いた人はもう歌わなくてもよいとか まして歌わない方がよいなどということは まったくありませんし、神から頂いた声で、息をしている限り賛美と感謝の歌を「心から」歌い続けようではありませんか！

その③ 「では心から歌う」とはどんなことでしょうか？ それは典礼聖歌の大部分は聖書の言葉によっており、それに旋律がつけられることによってそのことばが一層いきたものとなるよう作曲され それが実際に歌われる時その言葉ははつきり生きたことばとして 私たちの心に語りかけ より深いものとして心にしみいるものとなる筈です。決してよい声とはいえない司祭の歌唱ミサの心からの祈りが人々の胸を打つのは そのためなのです。

その④ それで私は「歌は二つの輪のついた手押し車のようなもの」と思っています。

片方の輪は良い声でしょうか？もう片方の輪はよい音程やよいリズムでしょうか？ 輪は二つともよく磨かれ 油もさされていて申し分ないのですが その荷台に何も載っていないということも なかなか多いのです。車は荷物を運ぶためにあるのです。

わたしたちが運ぶものは何でしょうか？ それは**神への祈り**です。

以上。



目的はあくまで神に私たちの祈りを運び届ける為であり 隣の人と共に声を合わせて祈るためです。

このようなことから勇氣百倍 教会で歌うとき何らかの参考にしていただければ幸いに存じます。そして「それでは私も！ あれがあつて忙しいけど第二土曜日の9時半に」とおいで下さったら本当にうれしいです

引用……「典礼聖歌作曲をして」 高田三郎薯

教会委員会記録

1月7日 17名参加

1. 1～2月の典礼について・・・別紙「こよみ」参照
2. 降誕祭のミサ・パーティーについて
 - ・夜半ミサで式次第を利用したのは良かったが、聖堂の中ではなく、入り口に置いた方が良かった。
 - ・式次第にルビを付けた方がよい。
 - ・パーティーの時に歌などの催し物を披露していただくため、前もって外国籍の方に声をかけてはどうか。
 - ・ご自分はパーティーに参加されなかったが、差し入れをしてくださった外国籍の方もいた。お礼を言うように心がけよう。
3. クリスマス献金報告
 - ・待降節とクリスマスミサの期間中にいただいた献金の総額は、4万円。富士桜作業所と富士五湖ダルクに各々2万円寄付させていただいた。
4. フードバンク山梨への支援について
 - ・年4回募集（3月、6月、9月、12月）。その月の始めから第4日曜日まで回収。
 - ・幼稚園にも協力をお願いする
5. その他
 - ・2月2日(金)仙瑞（Qスタ3階）にて新年会。18：30より
 - ・6月17日(日)の堅信式について。該当者に申込書を3月末までに提出してもらい、4月から勉強を始める予定
 - ・教会の連絡網の見直しを検討してはどうか。

こ よ み



2月

2日 (金) 主の奉献 (祝日) 初金曜日ロザリオ 10:00 ミサ 10:30

4日 (日) 年間第5主日 ミサ 9:30 教会委員会

(聖堂清掃は河口湖・都留地区)

5日 (月) 日本26聖人殉教者 (祝日)

11日 (日) 年間第6主日 子供と共に捧げるミサ 9:30

(聖堂掃除は日曜学校・河口湖・吉田地区)

※2月11日 (日) まで今年の枝を回収します。

12日 (月) 第37回 横浜教区典礼研修会 10時～藤沢教会

14日 (水) 灰の水曜日 ミサ 10:30 (大斎・小斎)

17日 (土) 聖歌練習 9:30

18日 (日) 四旬節第1主日 国際ミサ 9:30 十字架の道行き 9:00

山梨地区宣教司牧委員会 甲府教会 14時

(聖堂掃除はインターナショナル・山中・忍野地区)

22日 (木) 聖ペトロ使徒座 (祝日)

25日 (日) 四旬節第2主日 ミサ 9:30 十字架の道行き 9:00

(聖堂掃除は吉田地区)

金曜 10:00 ロザリオ 10:30 ミサ 2月2日のみとし、暫く休みとなります

イタリア語教室 月曜 10:00 (5, 19, 26日)

日曜学校 主日のミサ後～11:40 (11, 18, 25)

3月

4日 (日) 四旬節第3主日 ミサ 9:30 十字架の道行き 9:00 教会委員会

2月のミサ奉仕

月日	先唱	聖体奉仕者	侍者	第1朗読	第2朗読	歌伴奏
4	東海林義夫	山本一孝	真彩	福永好雄	宮本禮子	堀内千鶴
11	曾根美香	栗原今朝夫	真彩	猪俣瞳子		シスター
18	江守香代子	—	正人	英語	?	シスター
25	東海林美佐子	東海林義夫	天翔	渡辺幹雄	志村好直	シスター